

## 不正大麻・けし撲滅運動実施中(厚生労働省)

6月まで、不正大麻・けし撲滅運動期間となっています。大麻・けしに係る事犯の発生を防止するためには不正栽培事犯の発見に努めるとともに、犯罪予防の観点から、自生する大麻・けしを一掃することが重要です。(厚生労働省 薬物乱用防止に関する情報より引用)  
今回の安全安心だよりでは、大麻(アサ)と違法なけしの特徴についてご紹介します。

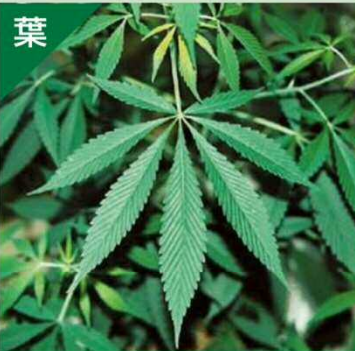


発見したら  
**通報**  
して下さい!!



大麻は、春から夏にかけて生育し、成長が早く、大きいものは草丈が3mにもなりますが、種子をつけた後は枯れてしまいます。よく成長した茎は太くまっすぐに立ち、浅い縦すじが通っています。

## 大麻(アサ)



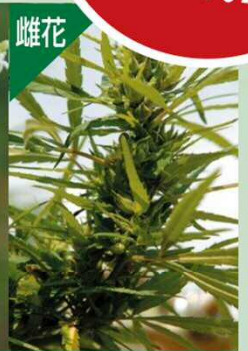
葉

葉は、細長い柄の先に、3~9枚(通常は奇数)の小葉が集まって手のひらのような形になっています。葉全体の大きさは10~20cmです。葉脈は規則正しくほぼ等間隔に細かく入り、はっきりしています。



雄花

花は夏に咲き、雄花と雌花が別々の株につきます。雌株は、葉のつけ根に穂状の雌花を多数つけます。雌花を摘むと、樹液でねばねばします。



雌花

## 違法なけし

(不正大麻・けし撲滅運動ポスターより引用)



ケシ (ソムニフェルム種)



つぼみの特徴

つぼみの外観は、キャベツの葉のような白味を帯びた緑色をしています。つぼみの表面には、ほとんど毛がありません。



花の特徴

花びら4枚で、色は赤、桃、紫、白などがあります。また、多数の花びらがついた八重咲きの花もあります。



アツミゲシ (セティゲルム種)



つぼみの特徴

つぼみの外観は緑色で、つぼみの表面やつぼみの下の茎(花梗)には毛があります。



花の特徴

花びらは4枚で、色は薄紫や赤があり、ソムニフェルム種よりも小形です。



ハカマオニゲシ (ブラクテアツム種)



つぼみの特徴

つぼみの表面には、硬く伏した(寝た)毛が多数ついています。



花の特徴

花びらは4~6枚で、基部に黒紫の鮮明な斑点があります。花びらのすぐ裏下に4~6枚のハカマ(苞葉)があります。

## 不正栽培・自生している大麻・けしを発見したら…

各地方厚生(支)局 麻薬取締部(支所)・

都道府県薬務主管課・保健所・警察署 へご連絡ください

